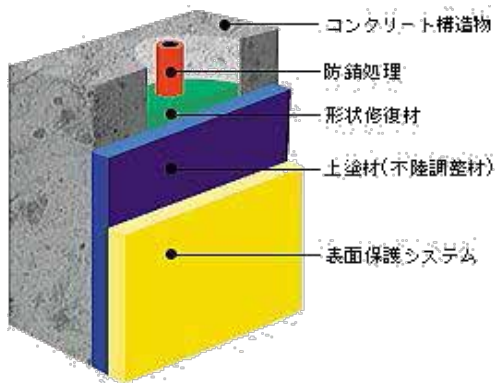


コンクリート補修・補強システムとは

補修・補強システムの基本的施工フロー

補修の基本は、ベースとなるコンクリート構造物の損傷に対して適切な施工方法を選択し、的確な管理の元に施工マニュアルに基づく確実な施工が行われなければならない。

S t oの歴史と実績に基づいた施工フローは、以下の手順によって行われる。



1. 準備工
- ↓
2. 仮施工
- ↓
3. 下地処理
- ↓
4. 防錆処理
- ↓
5. 接着剤
- ↓
6. 断面修復
 - ↓ モルタル充填工
 - ↓ モルタル吹付け工
 - ↓ モルタル吹付け工（仕上工）
- ↓
7. 表面保護システム
- ↓
8. 清掃・片付け

下地処理	防錆処理	接着剤	断面修復	表面保護システム
劣化した表面の有害物の除去と、断面修復材の付着力向上の為に、清掃が行われる。	錆によって侵された鉄筋は、サンドブラストによって十分に清掃される必要がある。補修の効果延長の為に慎重かつ確に行われる。	手塗りの断面修復には必ず使用されなければならない。大変優れた付着力を発現する。	S t oの断面修復システムは、非常に優れた性状を持つポルマーセメントモルタルを使用し、特色のある吹付け施工を行うことによって、確実な補修を実現する。	6種類のパターンを持つ保護システムを持ち、コンクリートに保護するとともに多くの色を使用し特色のある表現をすることが出来る。

* 当社は(株)クリテックジャパンの代理店として、ドイツS t o社製品の販売及び関連工事の施工を行っています。



高幸建設株式会社
TAKAKOH CONSTRUCTION Co., Ltd.